

1 試験研究成果

(1) 平成20年度成果数

成果区分	水稻	畑作物	果樹	野菜	花き	畜産	総合	総計
普及(普及に移しうる成果) 農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果	6	2	2	0	4	2	1	17
指導(技術指導に参考となる成果) 普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果	10	6	6	8	5	10	8	53
行政(行政施策等に反映すべき成果) 行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの	6	0	1	1	0	8	0	16
研究(技術開発に有効な成果) 新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの	0	6	0	3	3	5	0	17
計	22	14	9	12	12	25	9	103

(2) 外部評価結果(集計)

ア 第1回(平成20年9月、評価対象：0成果)

※例年は、第1回外部評価においても数課題の成果検討が行われていたが、平成20年度より「タイムリーな成果」が実施となったことにより、今回は第1回外部評価の対象となる成果がなかった。

イ 第2回(平成21年1月、評価対象：55成果)

評価項目	評価基準			
	A	B	C	D
総合評価	131 (57%)	98 (42%)	2 (1%)	1 (0%)
1 新規性	124 (53%)	88 (38%)	19 (8%)	1 (0%)
2 期待する活用効果	160 (69%)	61 (26%)	10 (4%)	1 (0%)
3 成果内容・表現の的確性	127 (55%)	102 (44%)	2 (1%)	1 (0%)

※評価基準

1 新規性	A (高い)	B (やや高い)	C (やや低い)	D (低い)
2 期待する活用効果	A (高い)	B (やや高い)	C (やや低い)	D (低い)
3 成果内容・表現の的確性	A (適切)	B (一部見直し)	C (大幅見直し)	D (不適切)

(3) 平成20年度成果名及び外部評価結果一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

(A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可)[※委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
水稲	H20-普-01	イブキジャコウソウ栽培マニュアル	農業経営	—	—	—	—
畑作物	H20-普-02	品種 食味に優れ、草丈が低く栽培しやすい半もち・短稈の早・中・晩生ヒエ「ヒエ岩手1号」「ヒエ岩手2号」「ヒエ岩手3号」	作物(県北)	—	—	—	—
水稲	H20-普-03	県中南部向け非主食用水稲新品種「岩南29号」の育成	作物(技術部)	1	4	0	0
	H20-普-04	県中北部向け非主食用水稲新品種「岩手85号」の育成	作物(技術部)	1	4	0	0
	H20-普-05	落水出芽を行う水稲湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合	プロジェクト推進室(水田農業)	3	2	0	0
	H20-普-06	直播栽培における水稲中期除草剤「ペノキススラム水和剤」の使用時期	プロジェクト推進室(水田農業)	2	3	0	0
畑作物	H20-普-07	納豆用大豆「すずほのか」の播種適期及び好適栽植密度	作物(技術部)	1	4	0	0
水稲	H20-普-08	水田大豆の小畦立て播種栽培の導入効果(追補) — 播種機の改良オプション—	プロジェクト推進室(水田農業)	4	1	0	0
果樹	H20-普-09	りんご「黄香」の樹上裂果軽減対策	園芸(技術部)	0	3	0	0
	H20-普-10	出荷規格L(350g)を目標としたぶどう品種「サニールージュ」の花穂整形と適粒	園芸(技術部)	1	2	0	0
花き	H20-普-11	品種 鉢物用リンドウ「花研鉢2」	園芸(技術部)	3	0	0	0
	H20-普-12	リンドウの肥効調節型肥料を利用した株養成期の低コスト施肥法	生産環境	3	0	0	0
	H20-普-13	県北地域における9～10月出荷用小ぎくの栽培体系	園芸(県北)	3	0	0	0
	H20-普-14	リンドウの育苗中に発生する苗腐敗症の発生生態と薬剤防除対策	病理昆虫	3	0	0	0
畜産	H20-普-15	肉質に優れる日本短角種雄牛「辰郎」の作出	家畜育種	2	3	0	0
	H20-普-16	乾物収量性に優れた飼料用トウモロコシ中生品種「ゴールドデントKD660」	家畜飼養・飼料	0	5	0	0
総合	H20-普-17	平成21年度岩手県病害虫防除指針に採用した主な殺虫剤、殺菌剤	病理昆虫	—	—	—	—

【指導(技術指導に参考となる成果)】

(A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可)[※委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
野菜	H20-指-01	生産技術体系を活用したきゅうり経営分析シート	農業経営	—	—	—	—
総合	H20-指-02	新技術等を導入した農業技術体系データ	農業経営	—	—	—	—
	H20-指-03	集落営農組織の現状と展開方向	農業経営	—	—	—	—
	H20-指-04	園芸農家経営分析シート	農業経営	—	—	—	—
水稲	H20-指-05	稲作コスト低減技術情報ナビの作成	水稲生産コスト低減チーム	—	—	—	—
	H20-指-06	水稲種子消毒用生物農薬の防除効果	病理昆虫	—	—	—	—
総合	H20-指-07	集落営農組織における経営管理の展開方向	農業経営	—	—	—	—
水稲	H20-指-08	非主食用品種「岩南29号」および「岩手85号」の施肥法	作物(技術部)	2	3	0	0
	H20-指-09	水稲湛水直播における作溝同時直播装置の開発	プロジェクト推進室(水田農業)	4	1	0	0
	H20-指-10	大区画水田における水稲直播栽培モデル体系	プロジェクト推進室(水田農業)	4	1	0	0
	H20-指-11	温湯浸漬処理済み水稲種子の長期保存条件	プロジェクト推進室(特裁・有機)	4	1	0	0
	H20-指-12	アカスジカスミカメに対する地域一斉防除が有効となる防除時期	病理昆虫	2	3	0	0
	H20-指-13	平成20年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-指-14	肥効調節型肥料(シグモイド型)で水稲の肥料費を低減	生産環境	2	3	0	0
	H20-指-15	水稲における固定式ライン型除草機の除草効果	プロジェクト推進室(特裁・有機)	1	4	0	0
畑作物	H20-指-16	平成20年産麦・大豆の生育経過の概要と特徴	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-指-17	ダイズ紫斑病の効率的な薬剤防除体系	病理昆虫	1	4	0	0
	H20-指-18	発酵鶏ふんを利用した大豆の無化学肥料栽培技術	作物(県北)	2	3	0	0
	H20-指-19	キビ、アワの登熟特性からみた成熟期の推定	作物(県北)	—	—	—	—
	H20-指-20	キビ、アワの機械収穫技術	作物(県北)	—	—	—	—
	H20-指-21	生物農薬(BT水和剤)によるアワノメイガ防除条件下でのアワの生育特性から見た適正播種量と作期	作物(県北)	—	—	—	—
果樹	H20-指-22	りんご「ふじ」の樹上凍結が果実品質に及ぼす影響	園芸(技術部)	3	0	0	0
	H20-指-23	りんご「シナノゴールド」の台木比較評価	園芸(技術部)	1	2	0	0
	H20-指-24	県内主要りんご産地におけるナミハダニの薬剤抵抗性実態を踏まえた殺ダニ剤使用体系	病理昆虫	—	—	—	—
	H20-指-25	クラブアップル「ドルゴ」、「スノードリフト」の授粉専用品種としての特性	園芸(技術部)	2	1	0	0
	H20-指-26	授粉専用品種のポット大苗移植によるリンゴ単植園での結実安定効果	園芸(技術部)	1	2	0	0
	H20-指-27	ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法	園芸(技術部)	3	0	0	0
野菜	H20-指-28	四季成り性イチゴの主要品種の特性	南部園芸	3	1	0	0
	H20-指-29	四季成り性イチゴの摘果と摘花房処理の効果	南部園芸	3	1	0	0
	H20-指-30	アスパラガス数品種の岩手県における年内どり伏せ込み促成栽培適性	園芸(技術部)	2	2	0	0

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
	H20-指-31	トマトすすかび病とCf-9品種を侵す葉かび病（新レース）の新奇発生と診断のポイント	病理昆虫	4	0	0	0
	H20-指-32	ハウレンソウ萎凋病に対するクロルピクリン錠剤の低薬量処理法	作物(県北)	—	—	—	—
	H20-指-33	小型反射式光度計及び示差屈折計を用いたレタス体内成分（硝酸イオン、糖）の簡易推定法	生産環境	3	1	0	0
	H20-指-34	GAP（衛生管理：トマト、きゅうり）における改善点と対策	生産環境	2	2	0	0
花き	H20-指-35	A4菌により作出したわい性リンドウ「A4PB No. 34-25」の特性	園芸(技術部)	3	0	0	0
	H20-指-36	パンジー鉢上げ用土としての杉樹皮培地の利用技術	南部園芸	2	1	0	0
	H20-指-37	リンドウ種子の調製・貯蔵技術	園芸(技術部)	2	1	0	0
	H20-指-38	等温遺伝子増幅法（ICAN法）を利用したキクわい化病の簡便な検定法	病理昆虫	3	0	0	0
畜産	H20-指-39	泌乳牛における分離給与の飼料給与順序がルーメン発酵に与える影響	家畜飼養・飼料	3	2	0	0
	H20-指-40	栄養管理による泌乳牛の尿量低減効果	家畜飼養・飼料	3	2	0	0
	H20-指-41	岩手県の黒毛和種在胎日数の現状と育種価および適合率	種山畜産	3	1	1	0
	H20-指-42	ライコムギサイレージを活用した日本短角種の自給飼料主体肥育技術	家畜育種	2	3	0	0
	H20-指-43	バークシャー種育成豚及び肥育豚の能力調査成績（1）	家畜育種	5	0	0	0
	H20-指-44	豚の肥育後期（70～110kg）における玄米添加給与が産肉性に及ぼす影響	家畜育種	3	2	0	0
	H20-指-45	産肉性から見た南部かしわ（K系）の適正な肥育終了週齢	家畜育種	4	1	0	0
	H20-指-46	飼料用トウモロコシ栽培における牽引式不耕起播種機の作業性	家畜飼養・飼料	2	3	0	0
	H20-指-47	子宮頸管粘液pHによる黒毛和種の過剰排卵処理後の卵巢反応の推定	家畜育種	2	3	0	0
	H20-指-48	受精卵移植時の血液検査値と受胎率・糞便pHとの関係	家畜育種	3	2	0	0
総合	H20-指-49	有機物の連用効果と土壌養分の過剰蓄積	生産環境	2	2	0	0
	H20-指-50	県内水田土壌の施肥管理と化学性の変化	生産環境	2	2	0	0
	H20-指-51	県内畑土壌の有機物施用と土壌の化学性の変化	生産環境	2	2	0	0
	H20-指-52	基盤整備直後の法面管理としてのイブキジャコウソウの経営評価	農業経営	0	4	0	0
花き	H20-指-53	リンドウこぶ症の発生実態調査に基づく当面の発生防止対策	病理昆虫	—	—	—	—

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

(A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可)[※委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
野菜	H20-行-01	本県産ほうれんそうの競争ポジショニングと振興方向	農業経営	—	—	—	—
水稻	H20-行-02	基盤整備事業計画地区における10a区画稲作労働時間積算シートの開発	農業経営	—	—	—	—
	H20-行-03	水稻種子発芽試験時の雑菌抑制対策	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-行-04	平成20年度水稻奨励品種決定本調査・現地調査結果	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-行-05	平成21年度水稻奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-行-06	平成21年度水稻新配布系統(候補系統)	作物(技術部)	—	—	—	—
	H20-行-07	MBI-D剤耐性イネいもち病菌の伝播経路	病理昆虫	4	1	0	0
	果樹	H20-行-08	りんご「岩手7号」の果肉は褐変し難い	園芸(技術部)	1	2	0
畜産	H20-行-09	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産	—	—	—	—
	H20-行-10	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定)成績	種山畜産	—	—	—	—
	H20-行-11	黒毛和種県有種雄牛の子牛市場成績	種山畜産	—	—	—	—
	H20-行-12	黒毛和種種雄牛別枝肉成績	種山畜産	—	—	—	—
	H20-行-14	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種	—	—	—	—
	H20-行-15	日本短角種産肉能力検定(現場検定法)成績	家畜育種	—	—	—	—
	H20-行-16	種雄牛「菊安舞鶴」のQTL解析結果と後継牛のQTL保有状況	家畜育種	—	—	—	—

【研究(研究開発に有効な成果)】

(※「研究」区分については、外部評価対象外)

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
畑作物	H20-研-01	改良固定タイン及び直進安定装置によるアワの除草効果	農業経営	—	—	—	—
	H20-研-02	雑穀類の移植栽培の可能性	作物(県北)	—	—	—	—
野菜	H20-研-06	アスパラガスの休眠における日長および低温の影響	園芸(技術部)	—	—	—	—
	H20-研-07	アワノメイガ越冬世代の発育と温度の関係	病理昆虫	—	—	—	—
	H20-研-08	他品目輪作によるハウレンソウ萎凋病の軽減効果は期待できない	園芸(県北)	—	—	—	—
	H20-研-09	県内主要産地葉菜類(キャベツ、レタス、ほうれんそう)の内部成分の特徴	生産環境	—	—	—	—
花き	H20-研-10	杉樹皮培地で発生するパンジー葉枯れ症状の発生要因	南部園芸	—	—	—	—
	H20-研-11	リンドウの着色異常をもたらす温度条件	園芸(技術部)	—	—	—	—
	H20-研-12	リンドウの県オリジナル品種におけるモザイク病の発生実態	病理昆虫	—	—	—	—
畜産	H20-研-13	飼料用トウモロコシ不耕起栽培における除草体系の検討	家畜飼養・飼料	—	—	—	—
	H20-研-14	黒毛和種雌子牛の母牛からの哺乳制限を開始する時期が採食量に及ぼす影響	外山畜産	—	—	—	—
	H20-研-15	哺乳方法の違いが母牛の卵巣機能回復に及ぼす影響	外山畜産	—	—	—	—
	H20-研-16	黒毛和種子牛の人工哺乳における離乳・育成指標	家畜育種	—	—	—	—
	H20-研-17	卵子活性化のタイミングが初期G1期またはG0期細胞を用いた核移植胚の発生能に及ぼす影響	家畜育種	—	—	—	—

2 追跡評価

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 農業研究センターによる自己評価

(ア) 評価視点 「現在も有効な成果であるか」

- a 評価対象 平成17年度に公表した普及区分の全研究成果(22成果)を対象。
- b 評価区分
 - A：(現在でも)有効
 - B：目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
 - C：後年度の成果に反映(更新)
 - D：無効(Bの概念にふくまないもの)

(イ) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

- a 評価対象 平成17年度に公表した普及区分の研究成果のうち、本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果(12成果)。
 - (a) 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)
農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
 - (b) 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
 - (c) いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
 - (d) 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
- b 評価区分
 - (a) 生産者への「普及状況」と「その効果」について、A～Dの4段階で評価。
 - A：目標の75%
 - B：75%未満～50%
 - C：50%未満～25%
 - D：25%未満
 - (b) 評価の基準となる目標数値は、成果を主査する研究室において設定。

イ 中央農業改良普及センター(県域)による評価

(ア) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

- a 評価対象 平成17年度に公表した普及区分の研究成果のうち、上記ア(イ)以外の成果(10成果)。
- b 評価区分 上記ア(イ)bと同じ

(3) 追跡評価結果

ア 農業研究センターによる自己評価

(ア) 評価視点「現在も有効な成果であるか」

No.	成果名	評価担当 研究室	有効性	摘要
1	<H17-普-01>水稲品種「どんぴしゃり」の期待生育量と栽培法	作物	A	
2	<H17-普-02>平成 18 年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤	作物	A	
3	<H17-普-03>水稲湛水直播機の作業条件と導入基準	PJ 推進室 (水田農業)	A	
4	<H17-普-04>「青丸くん」の緑色を残した豆乳の製造条件	生産環境	A	
5	<H17-普-05>りんご園の早期成園化のためのポット養成苗による大苗移植栽培法(追補)-JM 系台木と不織布ポットの利用-	園芸	A	
6	<H17-普-06>品種 西洋なし 食味良好な早生品種「オ-ロ」	園芸	A	
7	<H17-普-07>品種 おうとう 豊産性で食味良好な品種「紅秀峰」	園芸	A	
8	<H17-普-08>平成 18 年度雑草防除基準に採用した果樹除草剤	園芸	A	
9	<H17-普-09>品種 秋ぎく系小ぎく「CM21」(黄色 スプレータイプ)	園芸	A	
10	<H17-普-10>品種 秋ぎく系小ぎく「CM28」(赤紫色 スプレータイプ)	園芸	A	
11	<H17-普-11>発育効果および生涯生産性を高める乳用育成牛の集約放牧のシミュレーションソフト	家畜飼養・ 飼料	A	
12	<H17-普-12>黒毛和種県産種雄牛「房平茂」「平福国 1」「来待招福」の作出(間接法)	種山畜産	A	
13	<H17-普-13>黒毛和種県産種雄牛「菊福秀」の作出(現場後代検定法)	種山畜産	A	
14	<H17-普-14>肉質・歩留に優れた日本短角種種雄牛「大野 00013」の作出	家畜育種	A	
15	<H17-普-15>ス-タングラス、ス-タン型ルガムの品種特性と栽培管理	家畜飼養・ 飼料	A	
16	<H17-普-16>品種 チモシー早生品種「ホライズン」	家畜飼養・ 飼料	A	
17	<H17-普-17>品種 オーチャードグラス晩生品種「ハッカス」	家畜飼養・ 飼料	A	
18	<H17-普-18>平成 18 年度雑草防除基準に採用した飼料用ためこシ用除草剤	家畜飼養・ 飼料	A	
19	<H17-普-19>品種 乾物収量性に優れた飼料用ためこシ極早生品種「KD417」	家畜飼養・ 飼料	B	種子生産中止
20	<H17-普-20>品種 乾物収量性に優れた飼料用ためこシ極早生品種「おおぞら」	家畜飼養・ 飼料	A	
21	<H17-普-21>品種 乾物収量性に優れた飼料用ためこシ早生品種「TX201(017ルデント 110)」	家畜飼養・ 飼料	A	
22	<H17-普-22>平成 18 年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤	病理昆虫	A	

(イ) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

No.	成果名[担当研究室] [目標 現状]	普及 状況	効果	コメント	C、D 評価への 対応
1	<H17-普-02>平成 18 年度雑草防除基準に採用した 水稲除草剤[作物] [目標 現状] -	A	A	岩手県農作物病害虫・雑草防 除指針に採用されており、現 地に普及している。	-
2	<H17-普-06>品種 西洋なし 食味良好な早生品種 「オ-07」[園芸] [目標 現状] 栽培面積 2ha 1.5ha(H18)	A	A	現地に普及しており、現在も 有効な成果である。	-
3	<H17-普-07>品種 おうとう 豊産性で食味良好な品 種「紅秀峰」[園芸] [目標 現状] 栽培面積 1ha 2.5ha(H18)	A	A	現地に普及しており、現在も 有効な成果である。	-
4	<H17-普-08>平成 18 年度雑草防除基準に採用した 果樹除草剤[園芸] [目標 現状] -	A	A	岩手県農作物病害虫・雑草防 除指針に採用されており、現 地に普及している。	-
5	<H17-普-09>品種 秋ぎく系小ぎく「CM21」(黄色 ス プレータイプ)[園芸] [目標 現状] 栽培面積 10a 10a 以上	A	A	新しいわて、いわて中央、岩手 ふるさと等のJAを中心に普及 しており、現在も有効な成果 である。	-
6	<H17-普-10>品種 秋ぎく系小ぎく「CM28」(赤紫色 スプレータイプ)[園芸] [目標 現状] 栽培面積 10a 10a 以上	A	A	新しいわて、いわて中央、岩手 ふるさと等のJAを中心に普及 しており、現在も有効な成果 である。	-
7	<H17-普-12>黒毛和種県産種雄牛「房平茂」「平福 国 1」「来待招福」の作出(間接法)[種山畜産] [目標 現状] 凍結精液供給本数(初年度) 2,000 1,439	B	A	現地に普及しており、現在も 有効な成果である。	-
8	<H17-普-13>黒毛和種県産種雄牛「菊福秀」の作出 (現場後代検定法)[種山畜産] [目標 現状] 凍結精液供給本数(初年度) 2,000 1,274	B	A	現在も有効な成果であり、現 地にも普及している。	-
9	<H17-普-14>肉質・歩留に優れた日本短角種種雄 牛「大野 00013」の作出[家畜育種] [目標 現状] (凍結精液 500 本) 供用:肉牛生産公社、岩泉町	A	A	現地に普及しており、現在も 有効な成果である。	-
10	<H17-普-18>平成 18 年度雑草防除基準に採用した 飼料用ワケコシ用除草剤[家畜飼養・飼料] [目標 現状] -	A	A	岩手県農作物病害虫・雑草防 除指針に採用されており、現 地に普及している。	-
11	<H17-普-19>品種 乾物収量性に優れた飼料用ワケ コシ極早生品種「KD417」[家畜飼養・飼料] [目標 現状] 栽培面積 12ha 0ha	D	B	種子生産が中止されている。 成果の目的を達成し、現在で は有効性がない成果。	本品種に替わる極 早生品種として2品 種の特性比較試験 を実施中。
12	<H17-普-22>平成 18 年度病害虫防除基準に採用し た主な殺虫剤、殺菌剤(病理昆虫) [目標 現状] -	A	A	岩手県農作物病害虫・雑草防 除指針に採用されており、現 地に普及している。	-

イ 中央農業改良普及センター(県域)による評価

(ア) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

No.	成果名[担当研究室] 【目標 現状】	普及 状況	効果	評価・コメント	C,D 評価への対応
1	<H17-普-01>水稲品種「ど んぴしゃり」の期待生育量 と栽培法[作物] 【目標 現状】 栽培面 積 3,000ha 1,364ha	C	B	<p>広域的に品種変更を行った旧JA盛岡管内など導入が進んでいる地域で、当該成果が活用されてはいるが、設定された目標面積には到達していない。さらに、技術内容は多収性品種の特性を十分に反映されたものとはなっておらず、各地で設置したモデル展示圃の中で、収益性を含めて導入の利点を明らかにする活動を行っている。</p> <p>これらのことは、本来、新品種のデビュー時点で既に明らかとされているべきものであり、今後、品種開発・生産技術と販売が一体的な戦略として整理されたものとして新品種がデビューできるよう、奨励品種決定までのプロセスの見直しが必要である。</p>	<p>戦略的な品種デビューを達成するため、21年8月までに策定予定である次期いわてライスフロンティア計画(第2期岩手県水稲品種開発育成推進計画)において品種開発のあるべき方向性を関係機関と協議することとした。</p>
2	<H17-普-03>水稲湛水直 播機の作業条件と導入基 準[PJ 推進室(水田農業)] 【目標 現状】 導入面 積 350ha 210ha	B	C	<p>平成22年度目標値に対して導入面積は着実に増加しているが、生産者が抱える導入にあたっての課題は「収量安定化」が最も多く、当該成果の寄与率は元々大きくはないものと思われる。生産現場では低コストを意識して等倍量コーティングが主体であり、成果で示されている風乾の指標は(2倍量コーティングが前提)活用が困難となってきている。</p> <p>一方、湛水直播機の導入基準に関しては、指導段階では十分参考となるものである。</p>	<p>直播技術は進歩しており、多目的田植機による湛水直播の普及が進んでいる。このような中で、当該成果内容も、見直しながら、常に新しい技術を現地に提供する必要があることから、現在、収量の多収化・安定化のための技術開発や、具体的な実証の中での経営の評価などを進めている。</p>
3	<H17-普-04>「青丸くん」の 緑色を残した豆乳の製造 条件[生産環境] 【目標 現状】 技術導 入(社・団体)2 0	D	C	<p>開発された技術を県内加工業者2社が導入し商品化されたが、本技術導入に適した原料確保が難しく、現在は製造を中止している。本技術導入の前提となる緑色を残した状態での原料確保が課題である。</p> <p>なお、収穫適期については平成15年度の研究成果で明らかになっている。</p>	<p>今後の加工用途原材料の研究においては、食品加工メーカーと連携して、開発過程におけるメーカーの評価をできるだけ組み込む形にしたい。</p>
4	<H17-普-05>りんご園の早 期成園化のためのポット養 成苗による大苗移植栽培 法(追補)-JM系台木と不織 布ポットの利用-[園芸] 【目標 現状】 技術導入実績のある農業 改良普及 (農改セ管内数): 4 8	A	B	<p>主要りんご産地で、JM系台木の優位性が理解され、大規模経営の生産者は、園地の改植時に本技術を導入している。しかし、事業を使った改植の場合に、大苗利用が要件として認められておらず、本技術導入に対して制度的な課題が残っている。</p> <p>本技術は、改植・規模拡大を図るのに有効であることから、各普及センターで技術展示を行うなど、現地での普及活動に取り組んでいる。</p>	-

No.	成果名[担当研究室] 【目標 現状】	普及 状況	効果	評価・コメント	C,D 評価への対応
5	<H17-普-11>発育効果および生涯生産性を高める乳用育成牛の集約放牧のシミュレーションソフト【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 指導機関での活用事例(農改セ数) 4 1	C	B	成果が出された後に、電気牧柵を活用した小規模移動放牧技術が普及されたことにより、活用の場面は少なくなったものの、放牧の考え方については、十分参考となる成果であった。	本シミュレーションは乳用牛放牧育成を実施するうえでの基本的事項である。今後の休耕田等による集約放牧が普及することによって活用が期待される。
6	<H17-普-15>スーダングラス、スーダン型ソルガムの品種特性と栽培管理【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 ロールバールスーダン栽培面積 3.0ha 3.0ha クマイソルガム2号栽培面積 2.0ha 2.2ha	A	A	飼料高騰のおり、自給飼料の重要性が再認識され、単収が高く牧草体系の飼料作物利用の選択肢が広がり、有意義である。	-
7	<H17-普-16>品種 チモン 早生品種「ホライズン」【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 栽培面積 45ha 36.8ha	A	A	同じ草種であっても早晩生の違う品種を組み合わせることで適期刈り取りを行うために重要な品種である。	-
8	<H17-普-17>品種 オーチャードグラス晩生品種「ハッカス」【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 栽培面積 22ha 不明	D	B	採種の状況等により種子流通量が極めて少なく、今後の面積拡大を期待したい。	種子メーカーが種子増殖事故により流通量が確保されなかった。今後は増殖が確保され普及が期待される。
9	<H17-普-20>品種 乾物収量性に優れた飼料用トモロコシ極早生品種「おおぞら」【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 栽培面積 12ha 2ha	D	B	当該品種は RM95 という極早生品種であり、作付けメリットが得られる地域は、高標高地等限られるため、面積的には少ないが、そういう地点における作付けでの選択肢を広げる意味でも重要な品種である。	今後の高標高地の栽培が面積の拡大されることによって普及が期待される。
10	<H17-普-21>品種 乾物収量性に優れた飼料用トモロコシ早生品種「TX201(ロイヤルデント110)」【家畜飼養・飼料】 【目標 現状】 栽培面積 56ha 41.5ha	B	A	早晩生の違う品種を組み合わせることで適期刈り取りを行うために重要な品種である。	-

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	作物	基盤技術	畜産	果樹	野菜花き	流通・加工	計
研究成果数	3	5	2	2	2	0	14

(2) 研究成果名

推進部会名	部会 No.	成 果 名	分 類	主査研究室	
作物 (稲栽培)	3	飼料用米など非主食用向け水稻多収新品種「岩南 29 号」の育成	技術・参考	技術部・作物	
	4	飼料用米など非主食用向け水稻多収新品種「岩手 85 号」の育成	技術・参考	技術部・作物	
	13	水稻湛水直播における作溝装置の開発	技術・参考	プロジェクト推進室 (水田農業)	
基盤技術 (土壌肥料)	1	肥効調節型肥料を利用したリンドウ株養成期間の低コスト施肥法	技術・普及	生産環境	
	(作業技術)	4	水稻湛水直播機のフロートに装着できる作溝装置	技術・普及	プロジェクト推進室 (水田農業)
	(病害)	19	等温遺伝子増幅法(ICAN 法)を用いたキクワイ化病の簡便な検定法	技術・参考	病理昆虫
	(作業技術)	28	直進播種同時除草と固定タイン式除草によるアワの機械除草技術	技術・参考	農業経営
	(経営)	40	基盤整備直後にイブキジャコウソウを栽植被覆する法面管理の経営評価	行政・参考	農業経営
畜産	1	岩手県の黒毛和種在胎日数の現状と育種価および適合率	行政・参考	種山畜産	
	2	黒毛和種における子宮頸管粘液 pH による過剰排卵処理後の卵巢反応の推定	技術・普及	家畜育種	
果樹	3	9 月下旬に成熟する着色容易なリンゴ新品種「岩手 7 号」	技術・普及	技術部・園芸	
	13	リンゴわい化栽培におけるドリフト低減ノズルの利用条件	技術・参考	技術部・園芸	
野菜花き(野菜) (花き)	1	四季成り性イチゴ「エッチェス-138」と「サマールビー」の摘果・摘花房処理の効果	技術・参考	南部園芸	
	11	リンドウ種子の調製・貯蔵方法	技術・参考	技術部・園芸	